

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	体育	3	必修科目	1年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標
 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習方法
 単元によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。そのため、実施の時期は変更になることがあります。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

学習評価
 以上の観点をふまえ、総合的に評価します。

担当者から
 ・積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。
 ・どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。
 ・遅刻、欠席、忘れ物をしない。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	体づくり運動	体ほぐし運動	・運動の楽しさや心地よさを味わい、運動に親しんでいく活動(ウォーキング、ジョギング、サイドステップ、クロスステップ、ストレッチ、柔軟体操)											・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、自他の心と体の関係や変化を確かめ、仲間と自主的に学ぶことが理解できる。 (体育実技) ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (体育理論) ・スポーツの意義や歴史、文化的特徴や、現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について理解することができる。	・体育実技・体育理論についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況
			・仲間と交流することをねらいとしながら、主運動につながるのある展開となる活動を行う													
			・自重を利用し負荷をかけたり、複数人で運動を組み合わせて、筋力を高める													
			・できる最大回数や時間を手がかりにして、無理のない強さや回数を選んだ運動を行う													
6	器械運動	マット運動	・接転技(前転・後転・開脚前転・開脚後転)											・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うことができ、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。		
			・伸膝後転・伸膝前転・跳び前転													
			・ほんてん技(側転・ロンダート)													
			・平均立ち(三点倒立・倒立・Y字バランス)													
6	体育理論	1 スポーツの始まりと変遷	1 スポーツの始まりと発展											・スポーツの始まりと発展、近代スポーツから国際スポーツへと発展した流れについて関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。		
			2 近代スポーツから国際スポーツへ													
6	球技	ソフトボール	・オーバーハンドスロー											・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。		
			・キャッチング													
			・キャッチボール(相手の胸をめがけて・ゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)													
			・四角キャッチボール													
			・バッティング(トスバッティング・スタンドティーバッティング)													
			・ピッチング(・スタンダード投法・スリングショット・ウインドミル投法)													
			・ゲームおよび審判													
6	陸上競技	短距離走	・ウォームアップ										・短距離走を速く走るために、どのようなフォームで走れば良いか、どのような技能が必要であるか、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に取り組む。			
			・スタート(クラウチングスタート)													
			・中間疾走													
			・フィニッシュ													
			・50m、100m計測													
		・跳び方(またぎ跳び、そり跳び、はさみ跳び)														
7		跳躍(走り幅跳び)	・走り幅跳びを遠くにどのようなフォームで跳躍すれば良いか、どのような技能が必要である													

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	体育	2	必修科目	2年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標
 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習方法
 単元によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。そのため、実施の時期は変更になることがあります。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、総合的に評価します。

担当者から
 ・積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。
 ・どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。
 ・遅刻、欠席、忘れ物をしない。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法		
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
4	体づくり運動	体ほぐし運動	・運動の楽しさや心地よさを味わい、運動に親しんでいく活動(ウォーキング、ジョギング、サイドステップ、クロスステップ、ストレッチ、柔軟体操)										・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、自他の心と体の関係や変化を確かめ、仲間と自主的に学ぶことが理解できる。	(体育実技) ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (体育理論) ・合理的な動きを理解し、練習やトレーニングで向上させ、運動やスポーツを生涯にわたって継続していく効果的な学び方について理解する。	・体育実技・体育理論についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度	
4			・仲間と交流することをねらいとしながら、主運動につながるある展開となる活動を行う													発問評価	
5			・自重を利用し負荷をかけたり、複数人で運動を組み合わせて、筋力を高める														スキルテスト
5			・できる最大回数や時間を手がかりにして、無理のない強さや回数を選んだ運動を行う														プリント、課題の提出状況
6	陸上競技	短距離走	・ウォームアップ										・速く走るために効果的な練習を自己や集団の能力に応じて、考えながら実行する。				
6			・スタート(クラウチングスタート)														
6			・中間疾走														
6			・フィニッシュ														
6			・50m、100m計測														
6	球技	ソフトボール	・オーバーハンドスロー									・易しい投球に対する安定したバット操作により出塁、進塁、得点する攻撃と仲間と連携した守備のバランスのとれた攻防ができる。					
6			・キャッチング														
6			・キャッチボール(相手の胸をめがけて・ゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)														
6			・四角キャッチボール														
6			・バッティング(トスバッティング・スタンドティーバッティング)														
6			・ピッチング(・スタンダード投法・スリングショット・ウィンドミル投法)														
6		・ゲームおよび審判															
7	バスケットボール	バスケットボール	・パス								・パス、ドリブル、シュートなど、基礎的な技能を身につけ、ゲーム中のオフェンスを想定した動きを身に付ける。						
7			・ドリブル														
7			・各種シュート(個人)														
7			・パス、キャッチからのシュート														
7			・ハーフコートでの、2対2 3対3														

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	保健	1	必修科目	1年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 学習方法
- ・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動が重要であることを学ぶ。
 - ・安全な社会生活について理解を深めるとともに、危険の予測・回避の方法や、応急手当の方法を学ぶ。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、授業の取り組みや定期考査、課題提出状況などを総合的に評価します。

- 担当者から
- ・1単位の教科なので休まないこと。
 - ・ノートをしっかりととること。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち	・健康についての多様な考え方	○	○								・健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解している。 ・生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 ・喫煙と飲酒は生活習慣病などの要因になることを理解している。 ・薬物乱用は心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを理解している。 ・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 ・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・現代社会と健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 定期考査 プリント、課題の提出状況
4			・健康の成り立ちとその要因	○	○											
4		2 私たちの健康のすがた	・わが国における健康水準の向上	○	○											
4			・わが国における健康問題の変化	○	○											
5		3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病とその種類	○	○											
5			・予防から回復まで	○	○											
5		4 がんの原因と予防	・がんとその種類	○	○											
5			・がんの予防	○	○											
6		5 がんの治療と回復	・がんの治療と緩和ケア	○	○											
6			・がんとともに生きる社会づくり	○	○											
6		6 運動と健康	・健康からみた運動の意義	○	○											
6			・健康によい運動の仕方	○	○											
7		7 食事と健康	・健康的な食生活の意義	○	○											
7			・健康に良い食事のとり方	○	○											
7		8 休養・睡眠と健康	・健康からみた休養の意義	○	○											
7			・健康からみた睡眠の意義	○	○											
8	9 喫煙と健康	・喫煙の影響	○	○												
8		・喫煙への対策	○	○												
8	10 飲酒と健康	・飲酒の影響	○	○												
8		・飲酒への対策	○	○												
9	11 薬物乱用と健康	・薬物乱用の影響	○	○												
9		・薬物乱用の要因と対策	○	○												
9	12 精神疾患の特徴	・精神疾患の要因と種類	○	○												
9		・精神保健の今日的課題	○	○												
10	13 精神疾患の予防	・日常生活における精神疾患の予防	○	○												
10		・精神疾患の早期発見・早期治療	○	○												
10	14 精神疾患からの回復	・専門家による支援と治療	○	○												
10		・社会環境の整備	○	○												
11	15 現代の感染症	・感染症とは	○	○												
11		・さまざまな感染症	○	○												
11	16 感染症の予防	・感染症予防の3原則	○	○												
11		・現代の感染症対策	○	○												

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	保健	1	必修科目	2年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習方法
・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、各生活段階の健康課題に応じ自己の健康管理及び環境づくりが重要であることを学ぶ。
・健康を支える環境づくりについて理解を深め、さまざまな情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することを旨とする。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をもまえ、授業の取り組みや定期考査、課題提出状況などを総合的に評価します。

担当者から
・1単位の教科なので休まないこと。
・ノートをしっかりとること。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	生涯を通じる健康	1 ライフステージと健康	・ライフステージと死亡や病気	○	○									・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	授業態度 発問評価 定期考査 プリント、課題の提出状況
4			・各ライフステージにおける健康課題とその支援	○	○										
4		2 思春期と健康	・思春期の体と健康	○	○										
4			・思春期の心と健康	○	○										
5		3 性意識と性行動の選択	・性意識とその尊重	○	○										
5			・性に関する情報と性行動	○	○										
5		4 妊娠出産と健康	・受精、妊娠、出産	○	○										
5			・母子保健サービスの活用	○	○										
6		5 避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と避妊法	○	○										
6			・人工妊娠中絶	○	○										
6	6 結婚生活と健康	・結婚生活の基盤となる心身の発達	○	○											
6		・結婚生活と家族の健康	○	○											
7	7 中高年期と健康	・加齢による変化と健康	○	○											
7		・高齢者の健康を支える取り組み	○	○											
7	8 働くことと健康	・働くことと健康のかかわり	○	○											
7		・働き方と健康問題の変化	○	○											
8	9 労働災害と健康	・労働災害とその要因	○	○											
8		・労働災害の防止	○	○											
8	10 健康的な職業生活	・職場における取り組み	○	○											
8		・仕事と生活の調和	○	○											
9	健康を支える環境づくり	1 大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康影響	○	○										
9			・大気にかかわる地球規模の問題	○	○										
9		2 水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁とその健康影響	○	○										

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	体育	2	必修科目	3年	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館)			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	・単元によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をつまみ、総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																	
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																	
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																	
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																	
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																	
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																		
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。 どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。 遅刻、欠席、忘れ物をしない。 																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準	評価方法	
				1	2	3	4	5	6	7	8			
4	体づくり運動	体ほぐし運動	体ほぐし(呼吸器系・循環器系・消化器系・泌尿器系・生殖器系・内分泌系・免疫系・神経系・感覚器系・運動器系)の働きや、その働きを高めるための運動の仕方について理解し、実践することができる。					○		○	○	体ほぐしの意義を理解し、からだを動かす楽しさや心地よさを求めようとする。 手軽な運動、律動的な運動など、運動の内容や方法を自分で考え、工夫し実践する。 筋力、持久力、柔軟性を高めるトレーニングを自らの体力に合わせて工夫して取り組む。 体力を高めるだけでなく、健康の維持・増進を図る目的にも幅広く活用する。	授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況	
4			仲間と交流することや、仲間と協力して、主体的な活動を行うことができる。					○		○	○			
5		体力を高める運動	自重を利用し、負荷をかけたり、履物で運動を組み合わせて、筋力を高めることができる。					○		○	○			
5			できる最大回数や時間を手分けして、無理のない働きや回数を選んで運動を行うことができる。					○		○	○			
5			適切な負荷をかけたり、適切な回数や時間を決めて運動を行うことができる。					○		○	○			
5	選択制体育A ・サッカー ・ソフトテニス ・バレーボール ・卓球	○サッカー	パス(トラップ)・ドリブル・シュート等の基本技術	○			○		○			○各種目共通とする 授業に積極的に取り組み、それぞれの種目の楽しさを味わおうとしている。 自分やチームの課題を発見し、効果的な練習の仕方を工夫している。 工夫された練習内容を活動日誌に記入する。 各種目の基礎的技術を習得し、個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況	
5			・スモールサイドゲーム	○			○		○					
5			・ゲームおよび審判	○			○		○					
5			・活動日誌記入						○		○			○
5		○ソフトテニス	ラケットの握り方	○			○		○					
5			・フォア、バックストローク	○			○		○					
5			・サーブ、ボレー	○			○		○					
6			・ラリーゲーム、ダブルスゲーム	○			○		○					
6			・活動日誌記入						○		○			○
6										○				○
6	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計)	1 生涯スポーツの見方・考え方	1 社会の変化とスポーツの役割		○	○					○	社会の変化に伴ってスポーツの役割や楽しみ方の変化、ライフワークに合わせたスポーツの楽しみ方について関心をもち、学習活動に積極的に取り組むことができる。 生涯スポーツの見方・考え方について、社会生活や事例などと比較したり分析するなどして、筋道をたてて説明できる。	授業態度・発問評価 プリント、課題の提出状況	
6			2 ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方		○	○								○
6		○バレーボール	・オーバー、アンダーパス	○			○		○			授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況		
6			・サーブ、レシーブ(3人レシーブ)	○			○		○					
6			・スパイク(助走・ジャンプステップ・スウィング)	○			○		○					
7			・ブロック、攻撃につなぐトス	○			○		○					
7			・チームでの総合練習	○			○		○					
7			・ゲームおよび審判	○			○		○					
7		・活動日誌記入						○		○	○			
7		○卓球	・ボールつき(初心者)	○			○		○					
7			・フォアハンドストローク	○			○		○					
7			・サービス、2対1のゲーム	○			○		○					
7	・シングルのゲーム、ダブルスのゲーム		○			○		○						
8			・ルールと審判法	○			○		○					
8			・活動日誌記入						○		○			
8	陸上競技	長距離走	・10分間走	○			○		○			長距離走を走るために、どのようなフォーム、呼吸法が必要か、また、どのようなトレーニングが効果的かなど、積極的に調べ取り組む。 速く走るために効果的な練習を、自己の能力に応じて、考えながら実行する。	授業態度、発問評価 スキルテスト、プリント、課題の提出状況	
8			・20分間走	○			○		○					
8	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計)	2 ライフスタイルに応じたスポーツ	1 いろいろなスポーツライフスタイル		○	○					○	ライフスタイルとスポーツの関係、自分に合ったスポーツライフの設計の仕方について、話し合いや意見交換などの学習活動に積極的に取り組むことができる。 ライフスタイルとスポーツについて、調べ整理したりするなどして、それらを説明できる。	授業態度・発問評価 プリント、課題の提出状況	
8			2 豊かなスポーツライフの設計		○	○								○
8	選択制体育B ・ソフトボール ・ソフトテニス ・バスケットボール ・卓球	○ソフトボール	・オーバーハンドスロー	○			○		○			○各種目共通とする 授業に積極的に取り組み、それぞれの種目の楽しさを味わおうとしている。 自分やチームの課題を発見し、効果的な練習の仕方を工夫している。 工夫された練習内容を活動日誌に記入する。 各種目の基礎的技術を習得し、個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。	授業態度 発問評価 スキルテスト プリント、課題の提出状況	
8			・キャッチング	○			○		○					
8			・キャッチボール(相手の胸をのけて、ゴロの捕球から遠投・フライの捕球から遠投)	○			○		○					
8			・四角キャッチボール	○			○		○					
9			・バッティング(トスバッティング・スタンドティーバッティング)	○			○		○					
9			・ピッチング(スタンダード投法・スリグショット・ウィンドミル投法)	○			○		○					
9		・ゲームおよび審判	○			○		○						
9		・活動日誌記入						○		○	○			
9		○バスケットボール	・パス・ドリブル・シュート等の基礎技術	○			○		○					
9			・パス・ドリブル・シュート等の基礎	○			○		○					
9			・3対3 ・ハーフコートゲーム	○			○		○					
9			・ゲームと審判	○			○		○					
10	・活動日誌記入							○		○	○			
10									○		○			

教科	科目	単位数	種別	年次
保健体育	生涯スポーツ	2	選択科目	異年次合同
使用教科書	なし		担当者	

学習目標
 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 学習方法
- ・生涯を通して、スポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む。
 - ・スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、必要な技能を身に付ける。

育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

学習評価
 以上の観点をふまえ、総合的に評価します。

- 担当者から
- ・座学中心となります。
 - ・積極的に授業に参加して生涯にわたってスポーツに取り組めるような計画を立て実践できるようになる。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	豊かなスポーツライフの設計	生涯スポーツの見方・考え方	社会の変化とスポーツの役割について考える	○		○							・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解している。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	レポート提出	
5			ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について考える	○					○	○					
6		ライフスタイルに応じたスポーツ	色々なスポーツライフスタイルについて考える		○	○				○					
7		豊かなスポーツライフの設計		○						○	○				
8	マイスポーツライフ①	マイスポーツライフの設計	生涯を通して取り組めるスポーツの設計①		○						○	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方を理解している。 ・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている。			
9			マイスポーツライフを実践する	生涯を通して取り組めるスポーツの実践①				○			○				
10		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する①				○				○			○	
11		マイスポーツライフ②	マイスポーツライフの設計	生涯を通して取り組めるスポーツの設計②		○								○	
12	マイスポーツライフ	マイスポーツライフを実践する	生涯を通して取り組めるスポーツの実践②				○				○	・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方を理解し、リーダーとして実践することができる。 ・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 ・生涯を通して取り組めるスポーツの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている。			
1			リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する②				○						○	○
2		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する②				○							○	○
3		リーダーとしてマイスポーツライフを実践する	グループリーダーとして実践する②				○							○	○

教科	科目	単位数	種別	年次	
保健体育	スポーツII	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。																		
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・3年次必修体育をベースに、さらに高度な技術、技能を身に付け個人や集団のレベルアップを目指します。 ・種目によってグループ学習・男女共修・男女別学習・習熟度別学習の授業形態で行います。 																		
学習評価	<table border="1"> <tr> <th>育成を目指す資質・能力</th> <th>育成を目指す資質・能力の評価内容</th> </tr> <tr> <td>1 基礎的・基本的学力</td> <td>基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。</td> </tr> <tr> <td>2 課題解決能力</td> <td>社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。</td> </tr> <tr> <td>3 情報活用能力</td> <td>多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。</td> </tr> <tr> <td>4 自己表現力</td> <td>目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。</td> </tr> <tr> <td>5 主体性</td> <td>課題解決に向け、主体的に追究することができる。</td> </tr> <tr> <td>6 協働性</td> <td>課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。</td> </tr> <tr> <td>7 自己理解</td> <td>諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。</td> </tr> <tr> <td>8 社会貢献(社会参画)</td> <td>地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。</td> </tr> </table> <p>以上の観点をふまえ、総合的に評価します。</p>	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容																	
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。																	
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。																	
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。																	
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。																	
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。																	
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。																	
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。																	
8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。																		
担当者から	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加して運動に興味・関心・意欲・態度をもって取り組むこと。 ・どの競技に関しても安全面を留意して運動に取り組むこと。 ・選択者の人数によって実施できる種目が限られてくる可能性があることを理解すること。 																		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準	評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8		
4	活動計画立案		前期分(月別)の活動計画を立てる			○		○		○		計画を立てることができたか	課題の提出状況
5	球技	○サッカー	・鳥かご、ボゼッション・ボール回しの応用				○	○	○		自分が蹴りたいところにきちんとコントロールして蹴ることができる。	授業態度	
5			・リターンパスからのシュート				○	○	○		シュートを打つ人の蹴りやすいところに落とすことができる。	発問評価	
5			・シュート練習・クロスからのシュート				○	○	○		クロスボールをゴールにダイレクトで合わせるができるか。	スキルテスト	
5			・3対3・5対5のシュートゲーム				○	○	○		状況を瞬時に判断し、シュート・パスすることができるか。	プリント、課題の提出状況	
5			・ゲーム				○	○	○		個人技能を使い、チームのことを考えた作戦、動きができる。		
5		○ソフトボール	・オーバーハンドスロー・キャッチング				○	○	○		長い距離でも正確に送球できるか。	授業態度	
6			・バックスイング(投手の腕をめぐらしてゴロの捕球から送球・フライの捕球から送球)				○	○	○		ボールの正面・落下地点に素早く入ることができるか。	発問評価	
6			・ゲッツーを取る練習				○	○	○		2人以上の野手と連携を取りアウトにすることができるか。	スキルテスト	
6			・バッティング(トスバッティング・スタンドタイパバッティング)				○	○	○		球を正確に打つことができるか。	プリント、課題の提出状況	
6	○ソフトテニス	・中継プレー、カットオフの練習				○	○	○		長打された場合など、中継に入り周りを見て判断できるか。			
7		・ゲーム				○	○	○		個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。			
7		・サーブ、ボレー				○	○	○		正確に狙ったところに打つことができるか。	授業態度		
8		・スマッシュ・サービスボールを打ちかける				○	○	○		ラケットを上げながらボールの落下地点を予測することができるか。	発問評価		
9	活動計画立案		後期分(月別)の活動計画を立てる			○		○		○	計画を立てることができたか。	課題の提出状況	
10		球技	○バスケットボール	レイアップ、2P、3P				○	○	○	テンポよく・正確にシュートを打つことができるか。	授業態度	
10				2対2・3対3、ツェメン、スリーメン				○	○	○		味方のスピード落とすことなく、パスすることができるか。	発問評価
10	・速攻練習、4対4						○	○	○		周りの状況を判断してプレーすることができるか。	スキルテスト	
10	・ゲーム						○	○	○		個人技能を使いながら作戦に合った動きができる	プリント、課題の提出状況	
10	○バレーボール		・サーブの打ち分け、サーブレシーブ(3人)				○	○	○		狙った所に打つことができるか。誰がレシーブするかお互いに指示することができるか。	授業態度	
10			・Aクイック、Bクイック				○	○	○		落下地点をよんでジャンプし、スパイクを打つことができるか。	発問評価	
10			・ブロック、攻撃につなぐトス				○	○	○		ブロック後にすぐ振り返り、次のプレーをすることができるか。	スキルテスト	
10			・グループでの練習				○	○	○		グループで協力し合い、レベルにあったメニューで練習できるか。	プリント、課題の提出状況	
10	○バトミントン		・ゲーム				○	○	○		個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。		
11			・ロングハイサーブ、・ショートサーブ				○	○	○		素早く落下地点に入り、狙った所に打つことができるか。	授業態度	
11		・ハイクリヤー・ドライブ・ドロップ				○	○	○		素早く落下地点に入り、狙った所に打つことができるか。	発問評価		
11		・ホームポジションからのフットワーク				○	○	○		どんな方向にきても対応ができるか。	スキルテスト		
11	○卓球	・ヘアピン・スマッシュ				○	○	○		素早く落下地点に入り、狙った所に打つことができるか。	プリント、課題の提出状況		
11		・半面コートでのゲーム				○	○	○		周りの状況を判断してプレーすることができるか。			
11		・ゲーム				○	○	○		個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。			
12	1	○卓球	・フォアハンドストローク				○	○	○		相手が取りづらいコースに打ち分けすることができるか。	授業態度	
12			・カットとカット打ち				○	○	○		ボールがバウンドして、頂点から落下するときに打つことができるか。	発問評価	
12			・スマッシュ・サイドスピン				○	○	○		狙った所に打つことができるか。手首を使い、横回転をかけることができるか。	スキルテスト	
1			・3球目攻撃				○	○	○		サービスを出し、素早く基本姿勢にもどり、次の攻撃に備えることができるか。	プリント、課題の提出状況	
1			・サーブ、2対1のゲーム				○	○	○		相手が嫌なところに打つことができるか。		
1			・シングルスゲーム、ダブルスのゲーム				○	○	○		個人技能を使いながら作戦に合った動きができる。		